

# 技術情報

長崎県病害虫防除所長

令和8年度病害虫発生予察技術情報第1号

## ヒメトビウンカの生息量及び イネ縞葉枯ウイルスの保毒状況について

本年5月に実施したヒメトビウンカ（第1世代）の生息量は平年より多く、イネ縞葉枯ウイルスの保毒率は平年よりやや高かった。

### 記

#### 1. ヒメトビウンカ（第1世代）の生息量及びイネ縞葉枯ウイルスの保毒状況

- (1) 本年5月の小麦圃場及びイネ科雑草地（12地点、1地点あたり概ね5圃場）においてヒメトビウンカの生息量調査を行った結果、捕虫網による20回すくいとり当たり頭数は13.0頭（平年 6.4頭）と平年より多く（図1、表）、若・中齢幼虫主体であった。
- (2) 上記調査時に採集したヒメトビウンカについて、本年6月にイネ縞葉枯ウイルスの保毒虫率調査（簡易エライザ法）を行った。その結果、保毒虫率は0.8%（平年 0.3%）と平年よりやや高かった（図1、表）。

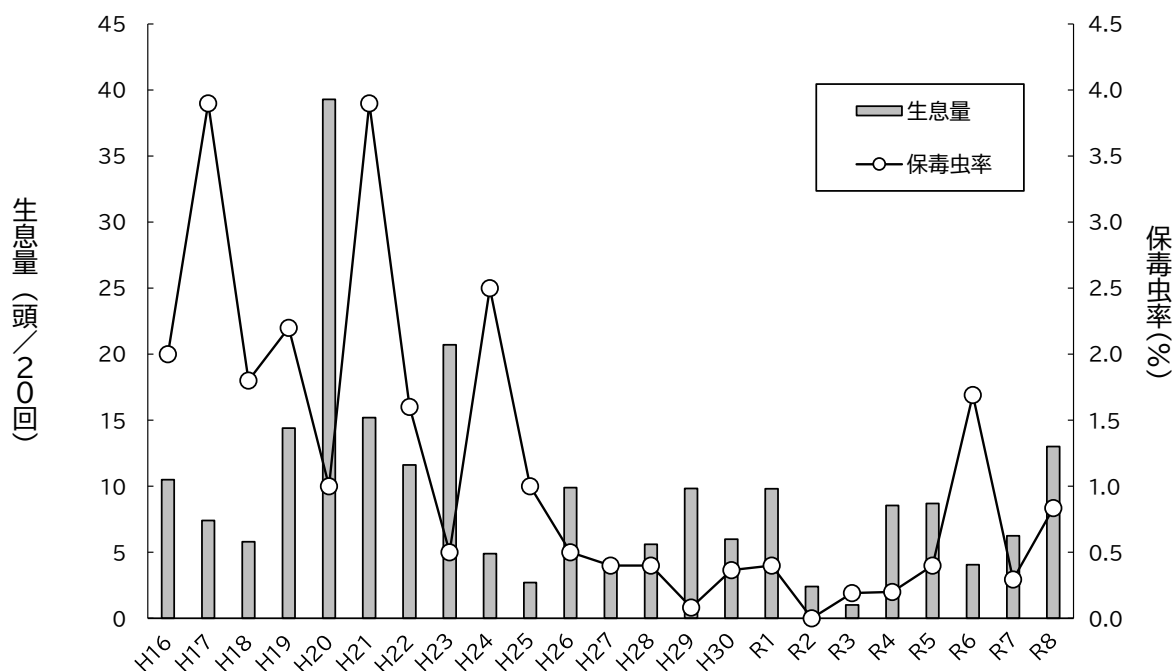


図1 小麦圃場及びイネ科雑草地におけるヒメトビウンカ(第1世代)の生息量及びイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率の推移

※保毒虫率の平年は、H28～R7。

※保毒虫率は、H16～26はラテックス凝集反応法、H27以降は簡易エライザ法で実施。

※H20、21は縞葉枯病多発生年。

表 各地点におけるヒメトビウンカ(第1世代)の生息量及びイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率

採集地点	検定虫数	保毒虫率(%)	生息数 (20回すくい取り 当たり頭数)	採集時期
長崎市琴海戸根	53	0	13.8	5月4半旬
西海市大瀬戸町	5	0	2.5	5月4半旬
諫早市小船越	147	2.0	62.7	5月3半旬
諫早市小野	129	1.6	39.3	5月4半旬
諫早市森山	152	0	27.0	5月4半旬
諫早市多良見町	0	-	0	5月4半旬
東彼杵町三根	94	1.1	72.0	5月3半旬
雲仙市国見町神代	110	0	19.7	5月4半旬
佐世保市長畑	28	0	6.9	5月3半旬
佐世保市江上	0	-	0	5月1半旬
五島市岐宿町～籠淵	0	-	0	5月2半旬
壱岐市芦辺町	0	-	0.3	5月2半旬
県全体	718	0.8	13.0	
平年値	-	0.3	6.4	



図2 縞葉枯病発病株

## 2. 防除対策について

- (1) 今後、移植を行う圃場ではウンカ類に効果のある箱施薬剤を必ず施用する。
- (2) 圃場でのヒメトビウンカの発生状況に注意し、発生が多い場合には防除を行う。
- (3) 縞葉枯病の発病株(図2)を認めた場合は早急に抜き取る。
- (4) 窒素過多は縞葉枯病の発生を助長するので適正な肥培管理に努める。

○6月から8月までの3か月間を「農薬危害防止運動月間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室  
(長崎県病害虫防除所) ホームページ」アドレス

: <https://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/nougi/JPP/index.html>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室  
(長崎県病害虫防除所) TEL: 0957-26-0027

